

英米政治とグローバル化世界

研究分野: 英米両国の外交、安全保障政策、グローバル化世界の国際秩序

キーワード: EU離脱後のイギリス、英米関係、米中関係、インド太平洋、地政学

貢献できるSDGsの区分:



国際社会学部 国際社会学科 教授 笠原 敏彦

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/kasahara/>

研究概要

EU離脱後のイギリスの国内政治がどのように変化し、いかなる独自の外交・安全保障政策を展開するのかという点を研究のベースとする。これを基に、イギリスと大陸欧州諸国との関係、歴史的な紐帯を持つアメリカとの関係の変化を多角的に分析し、イギリスが今後の国際秩序にどのような影響を及ぼしていくのかを考察する。

特に、21世紀の世界で焦点となる米中関係、インド太平洋地域の秩序にイギリスがどう絡むのかに関心を持つ。

産学連携の可能性(アピールポイント)

イギリスとアメリカの経済安全保障への取り組み、欧米社会のESG(環境、社会、ガバナンス)への取り組みについて理解を深め、企業活動に役立てる。

外部との連携実績等

一般社団法人「内外情勢調査会」などを通じた企業人への講演活動